

英語 2 : 302-2-DP1・DP2・DP3・DP4・DP6

年次	学期	学則科目責任者
2年次	後学期	*有川 量崇 (衛生学)

学修目標 (GIO) と単位数	・単位数：1単位 ・学修目標 (GIO)：歯科医学に関わる英語を身につけることによって、世界の歯科医療の現状を理解する。
担当教員	泉福 英信、*石橋 肇、五十嵐 由里子、岡田 裕之、平塚 浩一、*横山 愛、加藤 治、吉垣 純子、*有川 量崇、*遠藤 弘康、谷本 安浩、三枝 禎、*卯田 昭夫、田口 千恵子、栗原 紀子、*辻 理子、*鈴木 到、坂爪 陽香、長島 輝明
教科書	各教科の教科書を使用する。 各科目参照。 各科目参照。
評価方法 (EV)	2回の平常試験の平均を評価点(100%)とする。平常試験に欠席した場合には、速やかに欠席届ならびに追試験願いを提出すること。審議の上、追試験の有無を決定する。最終評価が合格基準(60点)に満たない場合は、再試験を行う。ただし、授業時間数の1/5以上を欠席した場合には、再試験の受験資格を喪失する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	国際社会で活躍できる歯科医師・研究者となるためには、世界の現状を理解することが必要です。正しい情報を得るために、英語の論文や記事が読める力を身につけて欲しいと思います。授業には辞書(電子辞書も可)を持参してください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/09 (水) 2時限 11:10~12:40	英文読解	<p>【授業の一般目標】 歯科医学に関わる英文を読むための基礎的な読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 文章中の英単語の意味を調べ、理解できる。 2. 長文の英文を読み、内容を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：文章を読むために必要な英単語の意味を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：使用した英単語を暗記する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 提示された課題に対する意見をまとめ、プレゼンテーションを行う。</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*有川 量崇
2026/09/16 (水) 2時限 11:10~12:40	英文読解	<p>【授業の一般目標】 歯科医学に関わる英文を読むための基礎的な読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 文章中の英単語の意味を調べ、理解できる。 2. 長文の英文を読み、内容を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：文章を読むために必要な英単語の意味を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：使用した英単語を暗記する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 課題についての意見をまとめ、ディスカッションを行う。</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*有川 量崇
2026/09/30 (水)	英文読解	<p>【授業の一般目標】</p>	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2時限 11:10～12:40	英文読解	<p>歯科医学に関わる英文を読むための基礎的な読解力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 文章中の英単語の意味を調べ、理解できる。 2. 長文の英文を読み、内容を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：文章を読むために必要な英単語の意味を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：使用した英単語を暗記する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 提示された課題について意見をまとめ、ディスカッションを行う。</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*有川 量崇
2026/10/07（水） 2時限 11:10～12:40	歯科医学史の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学史に関わる英単語を学修し、歯学・医学の歴史に関連する英語情報を読む力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医学史に関わる英単語の意味を説明できる。 2. 歯科医学史に関わる英文の内容を理解し説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：配布した英単語について調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：作成した英単語リストを暗記する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*辻 理子 *卯田 昭夫
2026/10/14（水） 2時限 11:10～12:40	歯の解剖学の英語	<p>【授業の一般目標】 歯の解剖学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報を読む力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯の解剖学に関連する用語を英語で説明できる。 2. 歯の解剖学に関連する英文の内容を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：提示する英単語の意味を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：英単語のリストを暗記する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有 提示された英文を解釈して発表する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-1) 身体の部位と方向用語 ①身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/14 (水) 2時限 11:10～12:40	歯の解剖学の英語	④歯(乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。	五十嵐 由里子
2026/10/21 (水) 2時限 11:10～12:40	解剖学の英語	<p>【授業の一般目標】 人体の構造に関わる英単語を学修し、解剖学に関連する英語情報を読む力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 解剖学に関連する用語を英語で説明できる。 2. 解剖学に関連する英文の内容を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：提示する英単語の意味を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：英単語のリストを暗記する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有 提示された英文を解釈し発表する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-1) 身体の部位と方向用語 ①身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 C-3-4)-(5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 ④脳と脊髄の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。</p>	五十嵐 由里子
2026/10/28 (水) 2時限 11:10～12:40	組織・発生学の英語	<p>【授業の一般目標】 人体組織に関わる英単語を学修し、組織学・発生学に関連する英語情報を読む力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 組織・発生学に関連する用語を英語で説明できる。 2. 組織・発生学に関連する英文の内容を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：組織・発生学で学んだ英単語の意味を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：講義で学んだ英単語・文章を復習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(1) 上皮組織と皮膚・粘膜系 ①上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。 C-3-4)-(7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 C-3-2) 組織、器官及び個体の発生と成長 ①人体の正常な個体発生と器官発生を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ①歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。</p>	岡田 裕之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/04 (水) 1時限 10:00～10:50	平常試験1と解説	<p>【授業の一般目標】 歯科医学に関わる英単語を学習し、英語論文を読解する力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 科学に関する英文を読み、内容を説明できる。 2. 歯学・医学の歴史に関わる用語を英語で説明できる。 3. 歯牙に関わる用語を英語で説明できる。 4. 人体解剖に関わる用語を英語で説明できる。 5. 組織・発生に関わる用語を英語で説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：授業中に配布した英単語リストを暗記する。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：試験の内容を復習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	岡田 裕之 五十嵐 由里子 *卯田 昭夫 *有川 量崇 *辻 理子 田口 千恵子 *鈴木 到 坂爪 陽香
2026/11/04 (水) 3時限 12:10～12:35	平常試験1と解説	<p>【授業の一般目標】 歯科医学に関わる英単語を学習し、英語論文を読解する力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 科学に関する英文を読み、内容を説明できる。 2. 歯学・医学の歴史に関わる用語を英語で説明できる。 3. 歯牙に関わる用語を英語で説明できる。 4. 人体解剖に関わる用語を英語で説明できる。 5. 組織・発生に関わる用語を英語で説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：授業中に配布した英単語リストを暗記する。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：試験の内容を復習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	岡田 裕之 五十嵐 由里子 *卯田 昭夫 *辻 理子 *有川 量崇 田口 千恵子
2026/11/11 (水) 2時限 11:10～12:40	生化学の英語	<p>【授業の一般目標】 生化学・分子生物学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報を読む力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 生化学の授業で出てくる主要な専門用語を英語にすることが出来る。 2. 英語で書かれた専門用語の説明文を読むことが出来る。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：前期ですでに配布済みの生化学プリントの見直し。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：配布したプリントの復習 (英単語の暗記) ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 提示された英文を解釈し発表する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 生命の分子の基盤</p>	栗原 紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/11 (水) 2時限 11:10～12:40	生化学の英語	<p>C-2-1) 生命を構成する基本物質 ①アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を説明できる。 ②脂質の構造、機能及び代謝を説明できる。 ③生体のエネルギー産生と利用を説明できる。 ④酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。</p> <p>C-2-2) 遺伝子と遺伝 ①核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を説明できる。 ②デオキシリボ核酸(DNA)複製と修復の機序を説明できる。 ③転写と翻訳の過程と調節機序を説明できる。 ④遺伝子解析や遺伝子工学技術を説明できる。</p> <p>C-2-3) 細胞の構造と機能 ③細胞周期と細胞分裂を説明できる。 ④細胞死の種類と基本的機序を説明できる。</p>	栗原 紀子
2026/11/18 (水) 2時限 11:10～12:40	微生物・免疫学の英語	<p>【授業の一般目標】 微生物学・免疫学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報を読む力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 微生物学 (総論・各論) に関する用語を英語で説明できる 2. 感染症に関する用語を英語で説明できる。 3. 免疫学に関する用語を英語で説明できる。 4. 微生物学・免疫学に関する文章を理解し、説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 提示された英語単語・文章の意味を調べる。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 講義で習得した英単語・文章を復習する。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: マルチメディア使用、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ①細菌、真菌、ウイルス及び原虫の基本的な構造と性状を説明できる。 ③感染症の種類、予防、診断及び治療を説明できる。 ④滅菌と消毒の意義、種類及び原理を説明できる。 C-4-2) 免疫 ①自然免疫の種類と機能を説明できる。 ②獲得免疫の種類と機構を説明できる。 ③免疫系担当臓器・細胞の種類と機能を説明できる。 ④抗原提示機能と免疫寛容を説明できる。 ⑤アレルギー性疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。 ⑥免疫不全症・自己免疫疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。 ⑦粘膜免疫を説明できる。</p>	泉福 英信
2026/11/25 (水) 2時限 11:10～12:40	生理学の英語	<p>【授業の一般目標】 生理学に関わる英単語を学修し、生理学に関連する英語情報を読む力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 生理学に関連する用語を英語で説明できる。 2. 生理学に関連する英文の内容を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 提示する英単語の意味を調べておく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 英単語リストを暗記する。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 有 講義内容についてチェックテストを行う。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。</p>	吉垣 純子 加藤 治 *横山 愛

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/25 (水) 2時限 11:10~12:40	生理学の英語	C-3-4) - (5) 神経系 ②体性神経系と自律神経系の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (6) 感覚器系と感覚 ②体性感覚の受容器の構造と機能を説明できる。 ④疼痛の種類、発生機序及び制御機構を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。	吉垣 純子 加藤 治 *横山 愛
2026/12/02 (水) 2時限 11:10~12:40	衛生・公衆衛生学の英語	【授業の一般目標】 統計学・衛生学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報を読む力を身につける。 【行動目標 (SBOs)】 1. WHOの健康の定義を英語で説明できる。 2. ヘルスプロモーションを英語で説明できる。 3. プライマリーヘルスケアを英語で説明できる。 4. 疫学研究を英語で説明できる。 5. スクリーニング検査を英語で説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：衛生学で学んだ英単語の意味を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 206教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養の事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 ③栄養と食育を説明できる。	田口 千恵子
2026/12/09 (水) 2時限 11:10~12:40	医療行動科学の英語	【授業の一般目標】 医療行動科学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報を読む力を身につける。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. プロフェッショナリズムに関連する用語を英語で説明できる。 3. インフォームド・コンセントに関連する用語を英語で説明できる。 4. コミュニケーションに関連する用語を英語で説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：医療行動科学で学んだ英単語の意味を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 206教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養の事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ①医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 ②医の倫理に関する規範・国際規範 (ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等) を概説できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	*遠藤 弘康
2026/12/16 (水) 2時限 11:10~12:40	歯科材料学の英語	【授業の一般目標】 歯科材料学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報を読む力を身につける。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科材料学に関連する用語を英語で説明できる。 2. 歯科材料学に関連する英文の内容を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	谷本 安浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/16 (水) 2時限 11:10～12:40	歯科材料学の英語	<p>事前学修項目：歯科材料学1で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体等：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養の事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。</p>	谷本 安浩
2026/12/23 (水) 2時限 11:10～12:40	薬理学の英語	<p>【授業の一般目標】 薬理学と薬物治療に関わる英語を知り、基礎医学への理解を深める。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 薬理学と薬物治療に関わる英語を知る。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目： ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目： ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養の事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-7 社会における医療の実践 A-7-2) 国際医療への貢献 ①患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとし異なる言語に対応することができる。 C 生命科学 C-6 生体と薬物 C-6-2) 薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 C-6-3) 薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 ②薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。 C-6-4) 薬物の副作用と有害作用 ①薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。</p>	三枝 禎
2027/01/13 (水) 1時限 10:00～10:50	平常試験2と解説	<p>【授業の一般目標】 歯科医学に関わる英単語を学習し、英語論文を読解する力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 生化学・分子生物学の用語を英語で説明できる。 2. 生理学の用語を英語で説明できる。 3. 微生物学・免疫学の用語を英語で説明できる。 4. 統計学・衛生学の用語を英語で説明できる。 5. 医療行動科学の用語を英語で説明できる。 6. 歯科材料学の用語を英語で説明できる。 7. 薬理学の用語を英語で説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまで学修した内容を復習する。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：自分の間違った問題について見直す。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 206教室</p>	吉垣 純子 平塚 浩一 三枝 禎 谷本 安浩 *有川 量崇 加藤 治 *遠藤 弘康 泉福 英信 田口 千恵子 *横山 愛 *鈴木 到 坂爪 陽香

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2027/01/13 (水) 1時限 10:00～10:50	平常試験2と解説	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	吉垣 純子 平塚 浩一 三枝 禎 谷本 安浩 *有川 量崇 加藤 治 *遠藤 弘康 泉福 英信 田口 千恵子 *横山 愛 *鈴木 到 坂爪 陽香
2027/01/13 (水) 4時限 14:00～14:15	平常試験2と解説	<p>【授業の一般目標】 歯科医学に関わる英単語を学習し、英語論文を読解する力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 生化学・分子生物学の用語を英語で説明できる。 2. 生理学の用語を英語で説明できる。 3. 微生物学・免疫学の用語を英語で説明できる。 4. 統計学・衛生学の用語を英語で説明できる。 5. 医療行動科学の用語を英語で説明できる。 6. 歯科材料学の用語を英語で説明できる。 7. 薬理学の用語を英語で説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまで学修した内容を復習する。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：自分の間違った問題について見直す。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	吉垣 純子 平塚 浩一 三枝 禎 谷本 安浩 *有川 量崇 *遠藤 弘康 泉福 英信 *横山 愛 加藤 治 田口 千恵子